

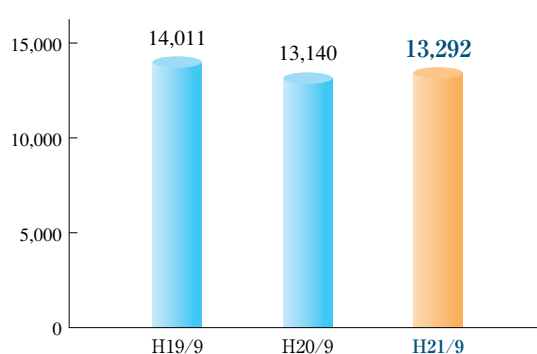
当行の概況

安定した業績を上げています!

預金、貸出金残高が順調に伸び、資金利益が堅調に推移していることから、銀行の基礎的な利益を示すコア業務純益は、安定した成績となっています。

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額
- 国債等債券損益

コア業務純益の推移 (百万円)

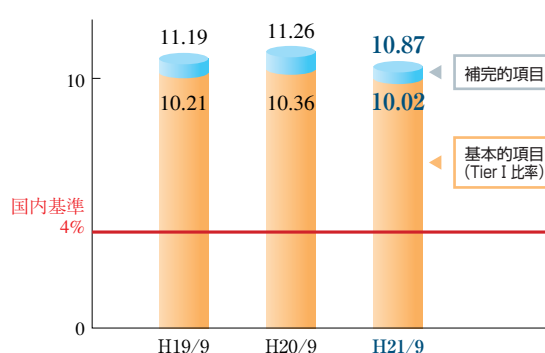


基準をはるかに上回る自己資本比率!

自己資本比率は、10.87%であり、拠点を国内に限っている銀行の基準である4%をはるかに上回っております。また、基本的項目 (Tier I 比率) は、10.02%であり、資本の質は極めて高い水準を維持しています。

平成20年9月19日の取締役会で自己株式の取得を決議し、1千万株の自己株を取得しています。

自己資本比率 (単体) の内訳 (国内基準) (%)



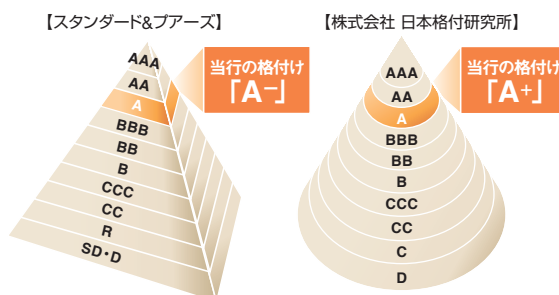
安定した評価で、高い格付け!

世界三大格付け会社のスタンダード&プアーズによる格付け (長期カウンターパーティ格付け) は「A」です。また、株式会社日本格付研究所の格付けは「A+」であり、ITの積極活用による利便性と安全性の向上や資本の充実などにより、安定した評価を受けています。

格付けとは?

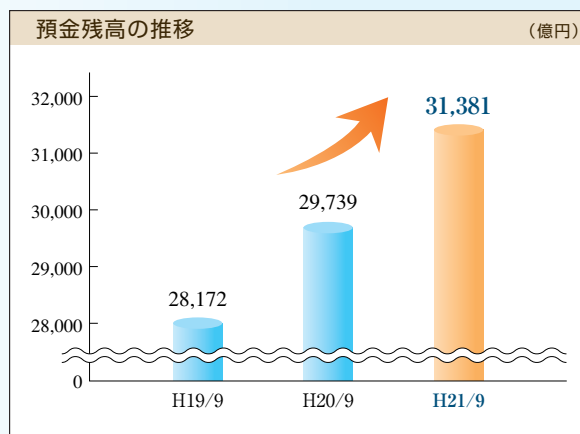
第三者の格付け機関が、銀行や企業などの「安全度」をランク付けしたものです。銀行の選定や企業へ投資する時などの参考指標として利用されています。

当行の格付け (平成21年9月30日現在)



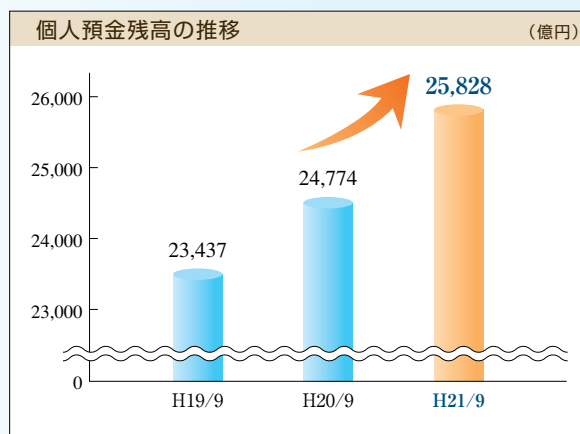
預金残高増加率5.5%、3兆円突破!

預金残高は、年間で5.5%増加し、残高は3兆円を突破しました。



個人預金増加率4.2%!

お客様の利便性、安全性を追求した「5つのコンセプト」に基づいた店舗投資をご評価いただき、個人の預金残高は年間で4.2%増加しました。

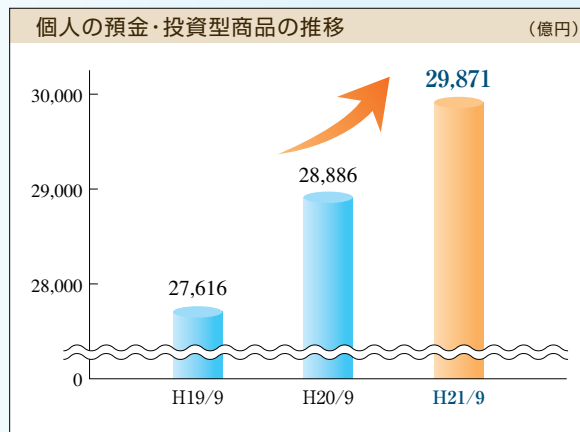


お客様に選ばれ、預金・投資型商品増加中!

個人のお客様の預金・投資型商品の合計は、年間で985億円増加しました。

投資型商品とは?

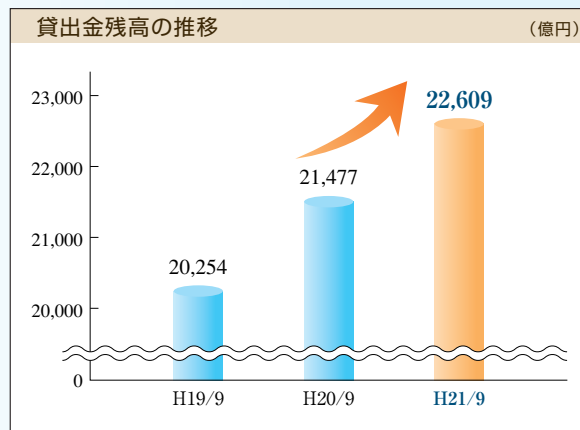
個人預り資産のことで、公共債(個人向け国債など)、投資信託、個人年金等を指します。



当行の概況

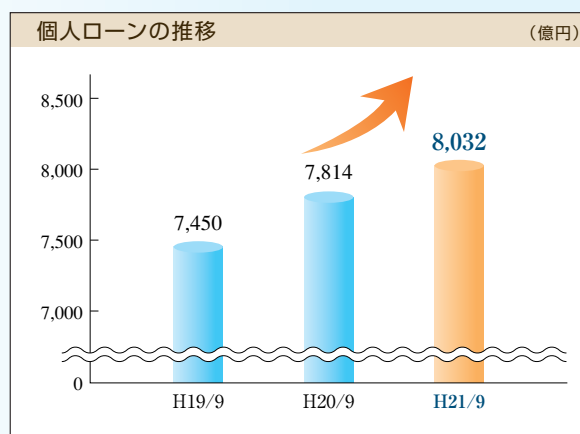
貸出金残高増加率5.2%!

中小企業を始めとした、法人向け融資や住宅ローン取組みを積極的に行った結果、貸出金残高は年間で5.2%の増加となりました。



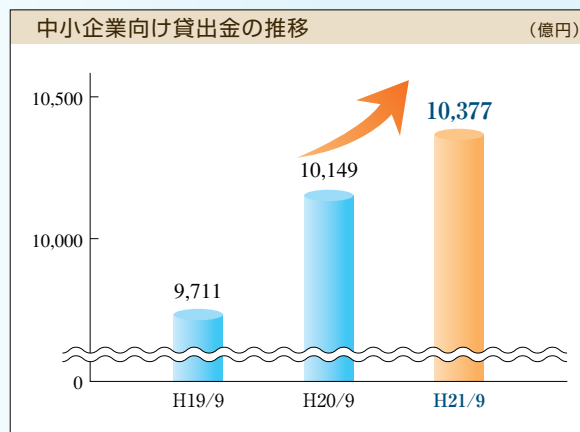
お客様に選ばれ、個人ローン増加中!

県内のお客様の資金ニーズにお応えし、住宅ローンを中心とした個人ローンの取扱金額は年々増加しています。



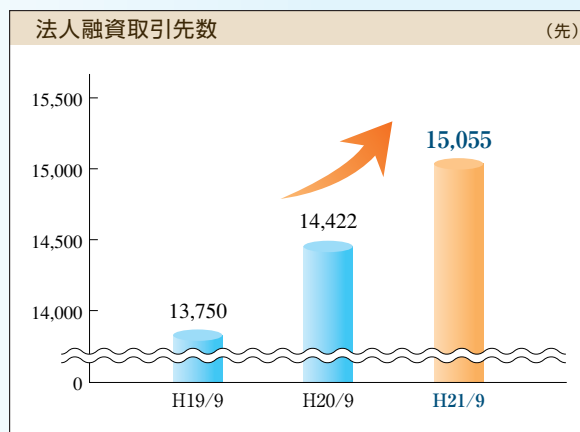
中小企業の皆様のお役に立っています!

県内の中小企業の皆様との共存・共栄のため、中小企業貸出を積極的に行った結果、残高は年間で2.2%増加し、1兆377億円となりました。



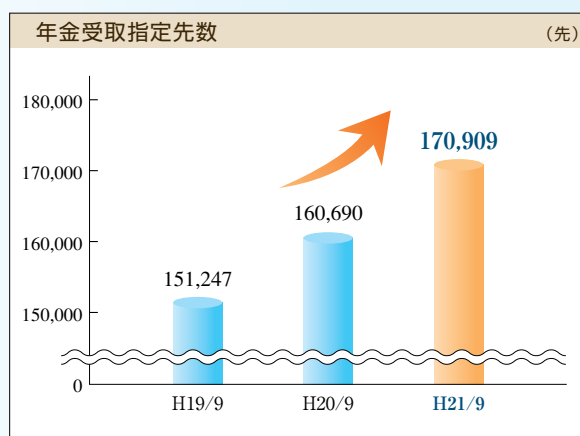
法人融資先、1万5千社突破!

県内のお客様にご支持いただき、法人のお客様の融資取引先数は1万5千社を超えました。



年金世代のお客様のニーズにお応えします!

年金世代のお客様のニーズにお応えするため、個別年金相談会や休日年金セミナーを開催し、好評をいただいています。年金受取指定先数は年間6.3%の増加となりました。

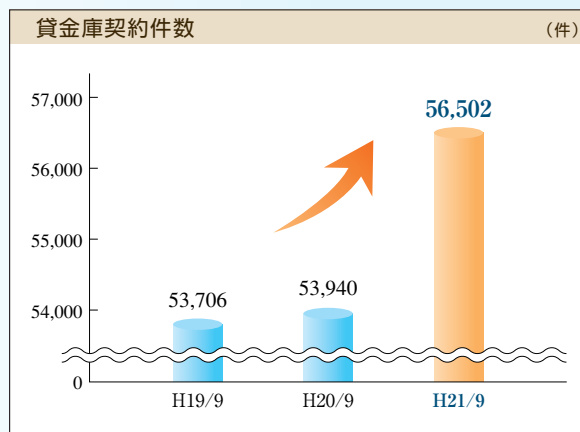


貸金庫をご利用のお客様増えています!

お客様の安全・安心に対するニーズにお応えするため、指静脈認証システム全自動貸金庫をご用意しています。

ご契約件数は年間で2,562件増加しました。

指静脈認証システム全自動貸金庫については、10ページをご参照ください。



当行の概況

不良債権比率は1%台!

金融再生法基準の開示債権 (単体)

当行では、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(以下、金融再生法)に基づき、対象となる資産を債務者の財政状態および経営成績などをもとに区分する資産査定を行っています。

「金融再生法基準」では、貸出金のほか、貸付有価証券、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、自らの保証を付した私募債などが対象範囲となっています。

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

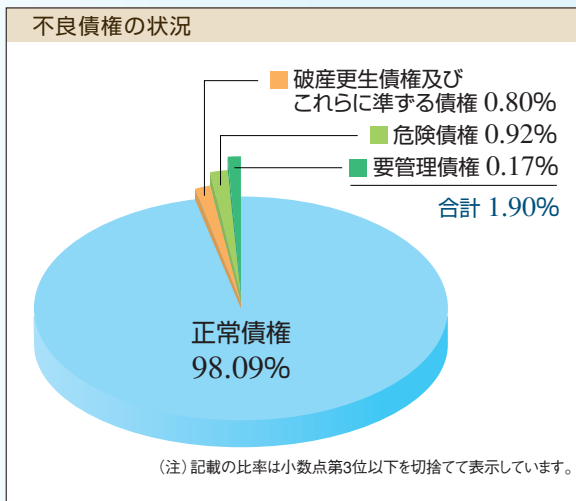
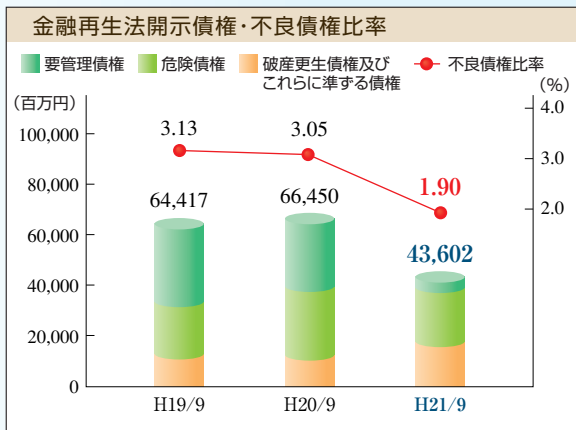
破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいう。

●危険債権

危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいう。

●要管理債権

要管理債権とは、3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権をいう。



その他有価証券含み損益は評価益を確保!

当行では従来から、安全性や流動性の高い国債を中心に堅実な有価証券運用を行っています。

仕組債やサブプライム関連の証券化商品等リスクの高い商品は保有しておらず、一昨年来の金融危機の影響は限定的でした。

そのため、その他有価証券の含み損益は評価益を確保しています。

